
無題3

ぐるぐる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題3

【Nコード】

N5430I

【作者名】

ぐるぐる

【あらすじ】

周りの喧騒。

ソレを取るに足らない些細なこと。

（前書き）

どうにもならない時に書いた詩です。

廃墟となった病院。

そこに居たくなかったが、やむを得ず居座ることになった。

割れた窓から冷たい隙間風が入り込み、疲れた身体に容赦なく鞭打った。

「休んでるんじゃないよ」

後ろを振り返ってみただけさ。

「また諦めんのかよ」

少し立ち止まってるだけさ。

「所詮、てめえはその程度だよ」

最後までやってみなきゃわかるかよ。

そうさ。最後までやってみなきゃわかるわけねえよ。

「いや、見えるよ俺には。お前が地べたに、はいつくばっている姿がよ」

誰が何を見たって？

冗談止せよ。てめえにオレが見えるわけねえよ。

それはただの幻覚さ。

「いや、お前が見ているモノこそが幻覚だ、その証拠にお前は何も得ていねえ、失うばかりじゃねえか」

得る？得ない？失う？何の話してんだよタコ。

「じゃあ、一体どういつつもりなんだよ？」

んなこと俺が知るかよ。

俺はただやりたいようにやるだけさ。

利益？

諦め？

コレが俺の実力？

勝手に吠えてれば良いさ。

周りの雑音に耳傾けてる暇なんて無いんだよ。

てめえの音出すのに必死なんだよ。

耳鳴りがする。

自分の鼓動しか聴こえない。

足が奮えて真っすぐ歩けねえや。

残された道？

誰が決めたよ？んなこと。

道が無いなら、
創れば良いさ。
んだよ。

精一杯の音奏でるしか道はねえ

（後書き）

残された道。

ソレは望んだモノじゃない。

だったらケモノ道であろうが、塞がった道であろうが、そこからまた違う道を創ってやればいい。

舗装された道だけが道じゃない。

そこまで歩いた道は消えたりしない。

振り返ればそこにちゃんとある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5430i/>

無題3

2010年10月20日13時44分発行